Drawing No.	REVI	Drawing Name	Sheet
YP1-065-D12-01	—	屋外HDネットワークコンビネーションカメラ施工基準書	—

変更履歴書

変更番号	変更内容	設変番号	変更日
△1	SHEET1～2　機種名　VN-H678WPC　追記 SHEET1　締付トルク　変更 ボックス部ねじ：3.9N·m（40kgf·cm）以上 →3.4N·m（35kgf·cm）以上	DP013805	2019.6.1

Drawing No.	REVI	Drawing Name	Sheet
YP1-065-D12-01	01	屋外HDネットワークコンビネーションカメラ施工基準書	1/2

機種名　VN-H678WPR / VN-H678WPC ⚠1

表示なき単位：mm

※ 回転するので、パン / チルト機構部を持って施工しないこと。
※ 電源を入れるとパン / チルト機構部は回転します。

外形寸法図

・ケーブル長: 約650 mm

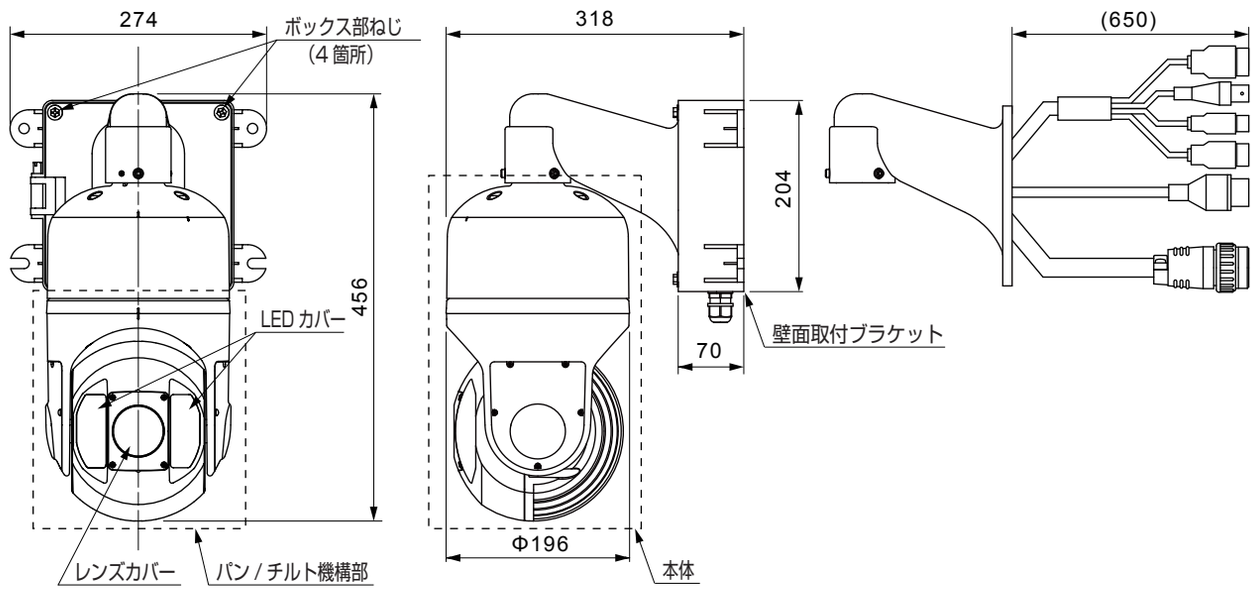

図 1 外形寸法図

規 格

本機質量	本体：約7.2 kg／壁面取付ブラケット：約3.0 kg
締付トルク	M10：18.8 N·m(192 kgf·cm)以上
	ボックス部ねじ：3.4 N·m(35 kgf·cm)以上 ⚠1
取付精度	水平 ± 5°以内

使用材料

(添付されていません)

アンカーボルト	M10 × 35 mm以上 ステンレス製
ナット、ワッシャー	M10 ステンレス製
落下防止ワイヤー	ステンレス製
電源ソケット(メス)	NJC-203-PF(半田タイプ) 七星科学研究所 材質：アルミ合金
AC電源ケーブル	3芯 Φ12 mm 以下 導体面積：0.75～2.0 sq
ケーブルブッシング	CBAS-12-7 七星科学研究所 材質：クロロプレンゴム

Drawing No.	REVI	Drawing Name	Sheet
YP1-065-D12-01	01	屋外HDネットワークコンビネーションカメラ施工基準書	2/2

機種名　VN-H678WPR / VN-H678WPC ⚠

表示なき単位：mm

※ 回転するので、パン / チルト機構部を持って施工しないこと。
※ 電源を入れるとパン / チルト機構部は回転します。

施工寸法例

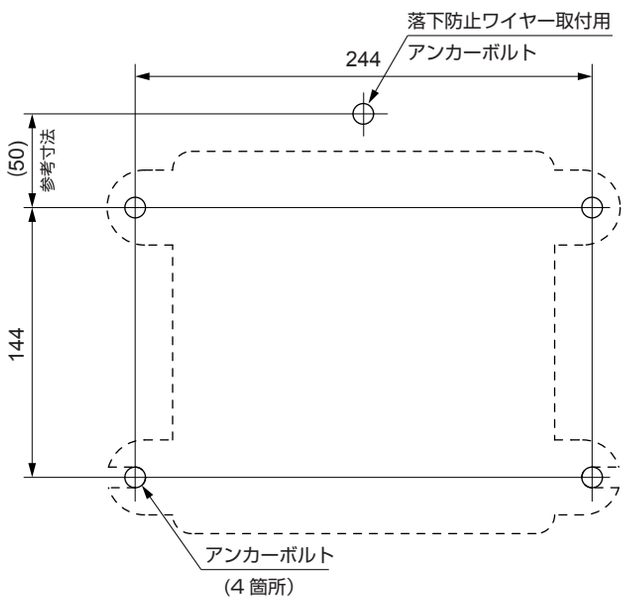

図 2 施工寸法図

施工手順

1. カメラ取付用4本と落下防止ワイヤー用1本計5本のアンカーボルト（長さ35 mm以上）を立てる。
2. 本機を取付ける。(詳細は、取扱説明書(設置編)参照。)
3. 落下防止ワイヤーを取付ける。(詳細は、取扱説明書(設置編)参照。)

注意事項

1. 施工面強度は、本機の総質量の10倍以上の強度を確保すること。
   強度が確保できない場合は、必ず補強を施し、強度を確保すること。
2. 落下防止ワイヤー(付属していません)の材質はステンレス製とし、本機質量に十分耐えられる強度(カシメ、ワイヤーなど)を確保すること。
3. 本機は、許容最大風速60 m/s(非破壊、回転台速度60°/s以下、マニュアル動作推奨。風速40 m/s以下は全動作可能)以下で運用のこと。
4. 壁面取付ブラケットのボックス内は、防水対応ではありません。
   ケーブル接続部(図3破線部)は、防水テープにて確実に防水処理を施すこと。また、使用しないケーブルも必ず防水処理を施すこと。
5. AC電源使用時、壁面取付ブラケットのボックス内で電源ケーブルを接続する場合は、しきり板の外側に配置し必ず他のケーブルと分離して配線すること。
6. 接続部が雨水にて水没しないよう考慮すること。
   ボックス内に雨水の浸入が予想される場合は、水抜き穴のキャップを取外すこと。
7. AC電源使用時、電源ソケット(メス、添付していません)を用意し、予めケーブルを製作すること。電源ケーブル径がΦ12 mm以上の場合は、別途中継ボックスなどを使用して接続すること。
   また、電源ケーブルは、必ずアース接続を行うこと。
8. 施工中の落下を防止するため、本機付属の落下防止ワイヤー2本を必ず指定の場所(取扱説明書(設置編)を参照)に取り付けてから配線すること。
9. 感電を防止するため、本機から外した接地(GND)ワイヤーは再度取付けること。
10. 本機は、本書および取扱説明書(設置編)に定められる施工が正しく行われ、適切な防水処理が施された場合にのみ防塵・防水(IP66)性能が維持できます。
11. レンズカバー、LEDカバーはガラス製なので、破損しないように注意すること。
12. レンズカバーのガラス面には触らないこと。
    レンズカバーのガラス面は、親水コート加工のため傷つき易いので布などで拭かないこと。ガラス面が汚れた場合は、水で洗い流すこと。

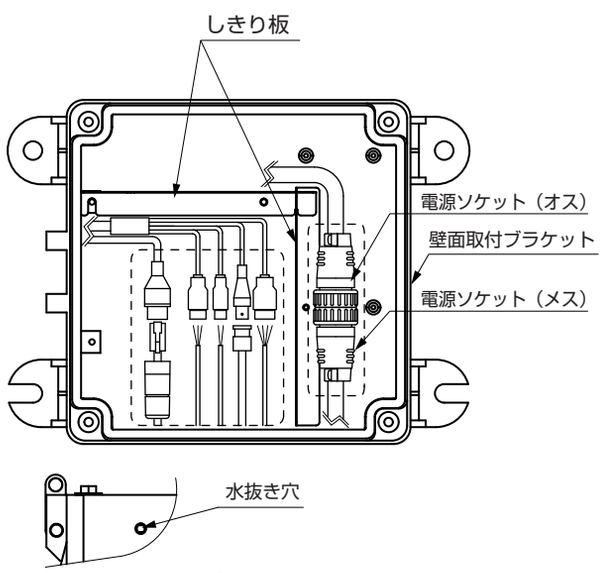

図 3 ケーブル結線図